



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

羽田新ルート

管制官にとって負担増

7月21日、区民の会による学習会で元航空管制官の方が講演。管制官の現場から見た羽田新飛行ルートの問題点について話してくれました。一部紹介します。

不要な滑走路変更

本来、安全のため風向きが変わった時に使用滑走路を変更します。しかし、新ルートは時間によって午後3時と6時過ぎに滑走路を変更します。

その度に管制官は「到着機をどこまで従来ルートで着陸させるか」「出発機はどこから変えるか」などの判断と各機体への調整に迫られ、業務負担が増えます。

政治的に滑走路変更をしているのは羽田空港だけです。と報告。

リスクが高まる

南風時の新ルートから従来ルートに戻す際（午後6時過ぎ頃）は経路が短くなるため空中待機が日常的に発生。そのため出発空港で待たされますが、それでも空中待機が生じます。長い時には午後7時30分まで待機しています。

空中待機が生じると、どの機体から待機が必要かなどの判断、待機させる高度の選定、待機中のレーダー監視など管制官の業務負担は著しく増大。つまり安全のための余白が著しく減少する状況になりリスクが高まります。と報告。



▲参加した羽田問題議員連盟しながわのメンバー
◀会場の様子

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、40歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

従来の海上ルートへ変更を

質疑応答も活発に行われました。回答の一部を紹介します。

○羽田空港は詰め込みすぎ。遅れが15分超えることが常態化。

○国が検討している急旋回で着陸する方法は利用できる機材に変わるのに10年はかかる。

○現在は2ルート並行着陸の際、間に進入禁止ゾーンを設定し、専任の管制官が監視している。急旋回する場合、曲線の進入禁止ゾーンを設定できるかが問題になるが、やっている所はない。



私・のだては講演を聞き、市街地上空を飛ばないルートは、国の急旋回する方法では不可能であり、従来の海上ルートに戻すことこそ解決策だと改めて認識しました。管制官やパイロットの負担を増やし住民に被害をもたらす新ルートは撤回させましょう。

学校の女子トイレに続いて

生理用品が区役所の女子トイレに設置

共産党は、21年3月にいち早く区議会で「生理の貧困」問題を取り上げ、生理用品の無料配布や学校トイレへの設置、トイレトパー

と区立小中学校のトイレへの設置が実現しました。昨年11月に新日本婦人会が配布の拡充を求める請願を議会に提出。共産党は採択へ奮闘。同月から区役所本庁舎3階と7階の女子トイレに拡大されました。

取り上げてから間もなく、区の女性職員による「優しさをかたちにプロジェクト」を引き続き拡充を求めます。



▲品川区役所本庁舎の3階と7階に設置された生理用品

必要な人に生理用品を無料配布している場所

- ジェンダー平等推進センター (きゅりあん3階)
- 子育て応援課 (区役所本庁舎7階)
- 暮らし・しごと応援センター (区役所第二庁舎3階)
- 品川保健センター (北品川3-11-22)
- 大井保健センター (大井2-27-20)
- 荏原保健センター (荏原2-9-6)

無料
法律相談

7月14日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲のだて稔史公式ラインにご登録下さい